

は し が き

この教科書は、大好評をいただいた『コミュニケーションのための基礎英作文』（2000年、金星堂刊）の姉妹編です。英語で自分の言いたいことを伝えたい。前作と同様、そんな思いを実現させるために、このテキストは作られました。

前作にお寄せいただいた様々なご意見を活かして、単なる英作文にとどまらず、相手の意見を聴き取り、口頭でも自己表現できることに一段と比重を置きました。ですから、各課のモデル英文や練習問題は対話形式が中心になっています。特徴は次の3点です。

1. 学習者の目線によるトピック中心の自己表現

履修登録、アルバイト、海外旅行、就職面接など、学生の誰もが経験するトピックを中心に各課が構成されています。ただし、大学生レベルのコミュニケーション能力を伸ばすためには、日常会話にとどまらず、広く文化や社会の諸問題を語れることが大切です。そのために本書では、比較文化、少子高齢化と年金、消えゆく言語、グローバリズムと戦争などの知的なトピックも用意しました。語るべき自分を形成してこそ、本格的なコミュニケーション能力が身につくと考えるからです。

2. リスニング＋文法・語法＋ライティングで総合的な自己表現力

各レッスンは付属CDによる対話文のリスニングから始まります。これによって基本表現や発音・リズムを覚え、それを基礎にして練習問題へと進む形式です。練習問題は、穴埋め・並べかえなどの平易なものから、自由英作文とプレゼンテーションに至るまでの段階的な構成で、多様な学力の学習者に対応できるようになっています。

3. 豊富な基本表現と文法・語法解説で、苦手意識を克服

モデル英文には訳註と文法解説を付け、無理なく自学自習できるようにしました。WORD BANKでは練習問題のヒントとなる語句を豊富に与えています。英語自己表現のためのコツを満載した*EXPRESSION CLINIC*や、一読三嘆の「英語鉄人伝説」も学習者の元気とやる気を楽しく応援します。

本書を活用し、自分の考えを堂々と世界に発信できる喜びを体験してください。

前作と同様、本書は英文の校閲でDeborah Iwabuchi先生に、編集で金星堂の嶋田和成氏にたいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

2004年10月 著者しるす

Table of Contents

LESSON 1 Page 6

Course Registration (履修登録)

1. 挨拶の表現
2. 伝聞・様子の表現 seem to ~, it seems that ~ など

EXPRESSION CLINIC 1

大学生活に関する英語を覚えよう

LESSON 2 Page 10

Part-time Jobs (アルバイト)

1. 関係副詞 when, where, why など
2. 結果や程度を表す表現 too ~ to ..., so ~ that ... など

EXPRESSION CLINIC 2

和製英語の落とし穴

LESSON 3 Page 14

Comparative Culture (比較文化)

1. つなぎ言葉 Well, let me see など
2. 形式主語構文 It is ~ to ...

EXPRESSION CLINIC 3

「色」には民族固有の意味がある

LESSON 4 Page 18

A Passage to Canada (カナダへの旅)

1. 付加疑問 確認・念押しの表現
2. 仮定法 as if you were ... など

EXPRESSION CLINIC 4

海外旅行に最低必要な英語

LESSON 5 Page 22

Aging Society with Declining Birthrate (少子高齢化社会)

1. 無生物主語 Today's paper says ... など
2. 比較構文 the + 比較級~, the + 比較級

EXPRESSION CLINIC 5

無生物主語構文をマスターしよう

LESSON 6 Page 26

Sports (スポーツ)

1. 譲歩構文 (1) Indeed ~, but ... の表現
2. 関係代名詞 前置詞のついた in which など

英語鉄人伝説 1 田中菊雄

LESSON 7 Page 30

Endangered Languages

(消えゆく言語たち)

1. 擬音語・擬態語
2. 言い換え表現 that is (to say), in brief など

EXPRESSION CLINIC 6

擬音語・擬態語に注意

LESSON 8 Page 34

Carp Streamers and Doll Festival

(鯉のぼりと雛祭り)

1. 感嘆文 How + 形容詞 / 副詞 + 主語 + 動詞! など
2. 理由を表す表現 because, since, for など

EXPRESSION CLINIC 7

コロケーションに注意

LESSON 9 Page 38

Global Warming and Environmental Crisis (地球温暖化と環境破壊)

1. 譲歩構文 (2) no matter how, though など
2. 同格の that

EXPRESSION CLINIC 8

技術英語論文の書き方

LESSON 10 *Page 42*

E-mail (電子メール)

1. 感謝の表現 I appreciate+O, Thank you for+O など
 2. 現在完了・過去完了
- EXPRESSION CLINIC 9*
電子メールのルール

LESSON 11 *Page 46*

Globalism and War
(グローバリズムと戦争)

1. 願望の表現 feel like ~ ing, would like to など
 2. 英語のことわざ
- EXPRESSION CLINIC 10*
日本国憲法第9条

LESSON 12 *Page 50*

Enchanting Japanese Cuisine
(日本料理の魅力)

1. 「できるだけ~する」の表現
 2. 賛同の表現 Why not? Sounds like fun. など
- EXPRESSION CLINIC 11*
日本料理を英語で紹介しよう

LESSON 13 *Page 54*

Educational Reform Strays
(教育改革のゆくえ)

1. 独立不定詞 to tell the truth, needless to say, など
 2. 否定主語 No ~, Nothing ~, Few ~ など
- EXPRESSION CLINIC 12*
英語の否定表現をマスターしよう

LESSON 14 *Page 58*

Movie or Music?
(映画それとも音楽?)

1. 依頼の表現 Could I ask you a favor? など
 2. 勧誘の表現 Would you like to ~? Why don't we ~? など
- 英語鉄人伝説2 岡倉天心

LESSON 15 *Page 62*

To Smoke or Not to Smoke; That's the Question (禁煙論争)

1. 強調構文
 2. S+V+O+Cの構文 makeの用法など
- EXPRESSION CLINIC 13*
直訳は危険

LESSON 16 *Page 66*

Christmas and New Year
(クリスマスとお正月)

1. 近未来の表現 be going to ~ など
 2. 最上級 the most ~, the best など
- EXPRESSION CLINIC 14*
表現は簡潔に

LESSON 17 *Page 70*

Examinations and Papers
(試験とレポート)

1. 不定詞 to+動詞の原形
 2. 動名詞 ~ ing形
- EXPRESSION CLINIC 15*
スピーチレベルの統一を

LESSON 18 *Page 74*

Visits to Hot Spring Resorts
(温泉に行きたい)

1. 同等比較 A as well as Bの表現
 2. 存在文 There is ~ / Here is ~の表現
- 英語鉄人伝説3 南方熊楠

LESSON 19 *Page 78*

Recommendation (推薦状)

1. 挿入構文
 2. 程度を表す形容詞・副詞
- EXPRESSION CLINIC 16*
英文履歴書の書き方

LESSON 20 *Page 82*

Job Interview (就職面接)

1. 原形不定詞
 2. クラブ活動に関する表現
- EXPRESSION CLINIC 17*
「の」はofとは限らない

Course Registration —履修登録

MODEL DIALOGUE

日本語を参考に、CDを聴いて () 内に適切な語を入れなさい。

CD TRACK 1

Mami: Hi, **Long time no see**, Hiroshi!

Hiroshi: Yeah, how have you been?

Mami: I've been all right. By the (1), will you show me your course registration card if you have it right now?

Hiroshi: Sure. Haven't you (2) it to the Educational Affairs Section yet?

Mami: No, I haven't. I (3) a credit in German. I wonder which Intermediate German class is the easiest.

Hiroshi: Mr. Okuda's class **seems to** be the easiest during the first semester.

Mami: Thanks. Now, Hiroshi, when is the (4) for course registration?

Hiroshi: The time (5) is no later than 5 p.m. today. **It seems that** you may lose all your credits for the first term if you miss the deadline.

Mami: Don't say that! I'm on very thin ice!



真実：洋君，お久しぶり！

洋：やあ，君も元気だったかい。

真実：元気にしてたわよ。ところで，履修登録票をいま持っていたら見せてくれない。

洋：いいよ。君はまだ履修登録票を教務係に提出してないの。

真実：ええ，まだよ。ドイツ語の単位を落としたの。中級ドイツ語で，一番取りやすい授業はどれかしら。

洋：前期では，奥田先生の授業が楽勝らしいよ。

真実：ありがとう。それで洋君，履修登録の期限はいつだっけ。

洋：期限は今日の5時までだよ。期限を守らないと，前期の単位を全部失うかもしれないそうだよ。

真実：うっそー。やばいわ！

Notes

「久しぶりです」(親しい間柄で) **Long time no see** 「履修登録票」 **a course registration card** 「教務係」 **Educational Affairs Section** 「単位を落とす」 **fail / lose a credit** 「前(後)期」 **the first / the second semester** (*必ずtheを付け，semesterの代わりにtermも可) 「期限」 **deadline / time limit** 「うっそー [=まさか，冗談でしょう]」 **Don't say that!** [= No kidding.] 「やばい (=危険な状況)」 **be on thin ice**

GRAMMAR & PHRASES

1. 挨拶の表現 Long time no see. It's been a long time. など
Hi, Hiroshi! *Long time no see.* (お久しぶり！)
Yeah, *how have you been?* (君も元気だったかい)

▶ 英語圏では、会ったとき、別れるときなどの日常の挨拶を、言葉をしっかり口に出して表現する。親しい間柄か否かによって表現が微妙に異なる。返答の仕方にも決まった言い方があるので、ぜひ覚えておこう。

- (a) Hi, Satoru! *It's been a long time.* / *It's been so long.* (悟君, お久しぶり)
—It sure has. (本当だね)
(b) *How have you been doing, John?* (どうしてた, ジョン) * 体調や様子を聞く場合
—I've been all right. (うん, 順調だよ)
(c) How are you, Mr. Sato? *I haven't seen you for a long time.*
(こんにちは, 佐藤さん。長いことご無沙汰しております)

2. 伝聞・様子の表現 「～のようだ」「～らしい」 seem to ～, it seems that ～など
Mr. Okuda's class *seems to be the easiest* during the first semester.
(前期では, 奥田先生の授業が楽勝らしいよ)
It seems that you may lose all your credits for the first term if you miss the deadline.
(期限を守らないと, 前期の単位をすべて失うかもしれないそうだよ)

▶ 「～らしい」「～のように見える」などの伝聞や様子を表す seem to ～, it seems that ～などの表現を覚えよう。例文(c)のように、「～だったようだ」と、一つ前の時制を表現するときには「seem to have + 過去分詞」を使う。

- (a) *It seems (= appears) that no one knows about her marriage.*
(だれも彼女の結婚のことは知らないようだ)
(b) *It seemed to me that she was very smart.*
= She seemed to be very smart. (彼女はとても賢そうだった)
(c) The professor *seems to have caught a cold.*
(その教授は風邪をひいていたようだ)

WORD BANK

「～(科目)を履修登録する」 to register for a course / class in ～ 「カリキュラム(履修課程)」 curriculum (複数形は curricula / curriculums) 「履修科目」 a subject to be studied 「(履修)単位」 a credit 「～を専攻する」 major in ～, specialize in ～ 「成績表」 a grade report / a report card 「奨学金」 scholarship

EXERCISES

A 日本語に合うように () 内に適切な英語を1語ずつ入れなさい。

1. 「また会えてうれしいわ。」 「私もよ。」
I'm () to see you again. —So () ().
2. 後期には経済学の履修登録をしました。
I () () a course in economics in the second ().
3. 通年で履修すると、講義科目は4単位、演習科目は2単位になります。
For full-year courses, () subjects earn four () and () subjects, two.
4. トムったら、あんなにたくさん履修したのに、進級に失敗したのよ。
Tom () so many courses, but he () to be promoted to the next ().
5. 彼女は病気のために、卒業に必要な単位が取れませんでした。
She () to earn enough () to () because of her illness.

B 日本語の意味になるように、() 内の英語を並べかえなさい。

1. お久しぶりです。
It (a / you / saw / since / long / is / I / last / time).
2. 履修登録票は4月18日から受け付けます。
(accepted / cards / on and after / be / registration / will / course) April 18.
3. 奨学金申請書の提出期限はいつですか。
When (filing / scholarships / is / the application / the deadline / for / for)?
4. この学科は、英語教育に関する多方面の科目を開講しています。
This department (English language education / range / courses / offers / a / wide / in / of).
5. 私が海外の大学で取得した単位は、どのくらい認定されますか。
How many (that / gained / of / will / at a foreign university / I / be accepted / the credits)?

EXPRESSIONS FOR COMMUNICATION

A 下線部を英語で表現しなさい。

A: ①いやあ、お久しぶり。進級おめでとう。

B: あなたもね。②ところで、もう履修登録は済ませたの？

A: まだだよ。なかなか難しくて。③専攻科目の単位をもう少し取りたいんだ。

B: ④武井先生の心理学は、試験に教科書持ち込み可で、楽勝らしいわよ。

A: けど、⑤彼の講義は一方的にしゃべるだけで、ぜんぜん面白くなさそうだよ。

B: そうらしいわね。とにかく、⑥履修登録票は明日午後5時の締め切りまでに、教務係に出してね。忘れると、やばいよ。

①

②

③

④

⑤

⑥

B 大学で学びたいことについて、英語で書いて発表してみよう。

EXPRESSION CLINIC 1 大学生活に関する英語を覚えよう

(1) 科目に関して

必修科目 required subject 選択科目 elective subject 専攻科目 major 副専攻科目 minor
言語学 linguistics 自然科学 natural science 生物学 biology 物理学 physics 工学
engineering 心理学 psychology 社会学 sociology 体育 physical education / P. E. 家政学
home economics

(2) 進路に関して

大学院 post-graduate school (postは省略可) 法科大学院 law school 修士課程 M. A.
course (M. A.は「修士」Master of Artsの略) 博士課程 Doctoral course / Ph.D. course
(Ph.D.は「博士」Doctor of Philosophyの意味) 専攻科 a major / specialist course